

県立高等学校再編整備計画骨子

再編整備の基本的方針

1 適正な学校規模・配置

- (1) 全日制高校
 - ◇ 1学級当たりの生徒数
 - ・ 普通科は36人程度、その他の学科は30～35人程度を基本とする。
 - ◇ 1学年当たりの学級数
 - ・ 4～8学級を基本とする。
 - ・ 再編整備に当たっては、可能な限り5学級以上を確保。
- (2) 定時制高校
 - ・ 在籍生徒数が減少し、著しく小規模化が進んでいる学校・学科については、配置の見直しを検討。

2 職業系専門学科の再編整備

- (1) 拠点校となる専門高校の配置
 - ・ 農業、工業、商業の各分野について、職業教育のセンター的役割を担う「拠点校」を配置。
- (2) 総合産業高校の設置
 - ・ 複数の異なる職業系専門学科を併設する「総合産業高校」を設置（既設の高校の統合）。
 - ・ 総合産業高校は、職業系高校として、各専門学科の専門性の確保を図ることを前提に、地域を担う人材の育成を図るための学科を構成。
 - ・ 総合産業高校には「総合選択制（※）」を導入。

※ 総合選択制

- ・ 複数の異なる学科を持つ学校において、生徒が自分の所属する学科の学習を重点的に行いながら、学科の枠を越えて幅広い教科・科目を選択して学習できるシステム。

- (3) 新しい学科の設置
 - ・ 「環境・エネルギー」、「ものづくり」、「食育」など本県の特徴を生かした新しい学科の設置について検討。
- (4) 各職業系専門学科の在り方
 - ◇ 農業科
 - ・ 農業系専門学科を設置する3校のうち、1校は農業教育のセンター的役割を果たす拠点校とし、他校は総合産業高校への再編を検討。
 - ◇ 工業科
 - ・ 工業系専門学科を設置する6校について、拠点校の配置、総合産業高校への再編を検討。
 - ◇ 商業科
 - ・ 商業系専門学科を設置する6校について、拠点校の配置、総合産業高校への再編を検討。
 - ◇ 水産科
 - ・ 近隣の職業系専門学科を持つ高校との統合による総合産業高校への再編を検討。
 - ・ 検討に当たっては、県内唯一の水産・海洋系学科であることや、水産・海洋教育の特性に配慮。
 - ・ 大学や試験研究機関等との連携強化に努める。

- ◇ 家庭科
 - ・ 食育など本県の特徴を生かした学習や、福祉分野等も併せた幅広い学習を行う教育体制を整備。
- ◇ 福祉科
 - ・ 家庭分野等も併せて幅広く学習できる教育体制を整備。

3 定時制・通信制課程の見直し

(1) 就学体制の見直し

- ◇ 新たな昼間制への移行
 - ・ 現在の昼間二部制を廃止し、時間帯を固定した昼間制に移行。
- ◇ 夜間制から昼間制への移行
 - ・ 地域の実情や生徒の就業状況等に十分配慮しながら、可能な限り夜間制から昼間制に移行。
- ◇ 単位制、2学期制の実施
 - ・ 全ての定時制課程において単位制、2学期制を実施。

(2) 教育内容の充実

- ◇ 学校外における学修（学外学修）の単位認定（※1）
 - ・ 実務代替、ボランティア活動、資格試験取得等について単位認定。
- ◇ 専門教科・科目の設置
 - ・ 資格取得につながる教科・科目などを設置。
- ◇ 専修学校等との連携の拡充
 - ・ 専修学校等との技能連携（※2）の実施可能性について検討。

※1【学校外における学修（学外学修）の単位認定について】

- ・ 生徒が行う学校外での学修について、教育上有益と認められる場合は、在学する高等学校における科目の履修とみなし、当該科目の単位を与えることができる制度。

※2【技能連携】

- ・ 定時制または通信制課程に在学する生徒が、技能教育施設（都道府県教育委員会が指定）で教育を受けている場合、当該施設における学習を高校の教科の一部の履修とみなすことができる制度。

(3) 課題を抱える生徒への対応

- ◇ 教育相談体制の充実
 - ・ カウンセラーの導入や養護教諭の適正配置等より、教育相談体制を充実。
- ◇ 少人数学級の導入
 - ・ 学習指導等をきめ細やかに行うため、可能な限り少人数学級を導入。
- ◇ 特別支援学校との連携
 - ・ 発達障害等の生徒に対応するため、特別支援学校との連携を強化。
- ◇ フリースペースの設置等
 - ・ フリースペースの設置やフリースクール等との連携について検討。

(4) 通信制課程の見直し

- ◇ スクーリングの充実
 - ・ JR 駅付近でのスクーリングの実施、スクーリング日数の増加等を検討。

4 再編整備の進め方

(1) 全日制高校

◇ 基本的な考え方

- ・ 再編整備は、生徒数の推移等を踏まえながら、段階的に実施。
- ・ 1学年3学級以下の小規模校がある地区から、順次再編整備を実施。
- ・ 1学年9学級以上の大規模校については、学級数の調整を行い、適正規模を確保。
- ・ 総合産業高校等の新しい高校や学科の設置に当たっては、遅くとも設置の前々年度には、学科の特徴、カリキュラム等について公表。

◇ 生徒の通学等への配慮

- ・ 公共交通機関の利便性向上を働きかけるとともに、必要に応じてスクールバスの運行、寄宿舎の設置などについて検討。

◇ 募集停止となる学校への配慮

- ・ 募集停止となる学校に入学した生徒は、入学した学校の卒業生となる。
- ・ 同窓会関係事務などは、原則として統合先の学校が引き継ぐ。

(2) 定時制・通信制高校

- ・ 再編整備は、概ね平成26年度までを見通して段階的に実施。
- ・ 第1期においては、就学体制の見直し、教育内容や教育相談体制の充実を中心に実施。
- ・ 第2期においては、昼間制への移行、学校の配置の見直しを中心に実施。

(3) 再編整備に当たって

- ・ 教員の資質・指導力向上、適正な人員配置、必要な施設・設備の充実を図る。

5 再編整備の実施

(1) 第1次実施計画（平成21～23年度）

◇ 全日制高校の再編（奥越地区）

- ・ 職業系専門学科の再編整備等（総合産業高校の設置等）

◇ 定時制・通信制課程の見直し

- ・ 昼間二部制から時間帯を固定した昼間制への移行
- ・ 単位制・2学期制の導入、教育内容・教育相談体制の充実

(2) 第2次実施計画（平成22～25年度）

◇ 全日制高校の再編（福井・坂井地区、嶺南地区）

- ・ 職業系専門学科の再編整備等（総合産業高校の設置等）

◇ 拠点校の配置

- ・ 農業、工業、商業科について拠点校を配置

◇ 定時制・通信制高校の見直し

- ・ 夜間制から昼間制への移行、定時制・通信制高校の配置の見直し

(3) 第3次実施計画（平成23～26年度）

◇ 全日制高校の再編（丹南地区）

- ・ 職業系専門学科の再編整備等（総合産業高校の設置等）

- ※ 普通科など職業系専門学科以外の学科については、今後の生徒数の推移等を踏まえながら、平成23年度頃に見直しの方向性を検討。

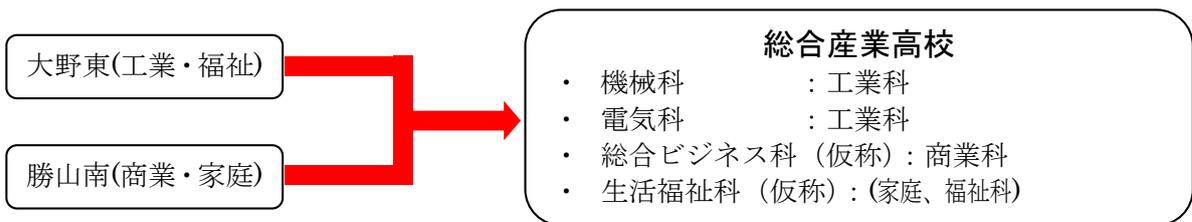
第1次実施計画

1 奥越地区の全日制高校の再編整備

(1) 大野東高校、勝山南高校

- ・ 総合産業高校に再編整備（平成23年度開校、設置場所は大野東高校）
- ・ 工業科は、工業の基礎的分野である機械科、電気科を設置。
- ・ 流通・販売・情報等の商業教育の基礎とともに、地域の産業・観光振興についても学ぶ「総合ビジネス科（仮称）」を新設。
- ・ 介護福祉士、調理師等の資格取得にも対応した「生活福祉科（仮称）」を新設し、コース制（福祉コース・食文化コース）を導入。

<総合産業高校のイメージ>



【総合産業高校設置スケジュール】

- 平成21年度
 - ・ 学科構成、カリキュラム編成
 - ・ 教育目標の設定
 - ・ 必要な施設・設備の検討
 - ・ 学校案内の作成
 - ・ 生徒、保護者、学校関係者等への周知
- 平成22年度
 - ・ 総合産業高校開校準備室設置
 - ・ 施設・設備改修、人員配置検討
 - ・ 総合産業高校の校名、校歌、校則等の検討
 - ・ 県立学校設置条例改正
 - ・ 生徒募集（広報、推薦入学、入学者選抜）
- 平成23年度
 - ・ 総合産業高校開校（大野東高校、勝山南高校募集停止）

(2) 大野高校、勝山高校

- ・ 両校とも、奥越地区の進学校として教育体制を充実。
- ・ 勝山高校については、普通科に、高度な情報科学学習を行い理工系・情報系大学への進学を目指す「情報コース」を設置。

実施計画の具体化に当たって

- ・ 奥越地区の再編整備を本県における高校再編のモデルに位置付け。
- ・ 再編整備の具体化に当たっては、生徒・保護者等の関係者に対し、計画の十分な周知を図る。
- ・ 県教育委員会と関係学校等が緊密な連携を図るとともに、進路決定に当たり混乱をきたさないよう、できるだけ早期に学校の特色やカリキュラムの概要等について周知を図る。

◇ 再編整備による学校規模等の比較

【現 行：平成20年度】

No.	高校名	学科名	1学年 当たりの 学級数	1学級 当たりの 生徒定員	備考
1	大野高校	普通科	6	39	
2	勝山高校	普通科	4	37	
3	大野東高校	機械システム科	1	31	工業科
		電気科	1	31	
		情報・建設科	1	31	福祉科
		福祉教養科	1	31	
4	勝山南高校	情報科	1	30	商業科
		経営実務科	1	30	
		生活経営科	1	30	家庭科



【再編後：平成23年度】

No.	高校名	学科名	1学年 当たりの 学級数	1学級 当たりの 生徒定員	備考
1	大野高校	普通科	5	36	1学級減
2	勝山高校	普通科	5	36	情報コース新設
		うち、情報コース	(1)	(36)	
3	総合産業高校	機械科	1	30	工業科
		電気科	1	30	
		総合ビジネス科(仮称)	1	30	商業科
		生活福祉科(仮称)	2	30	・家庭、福祉科 ・コース制を導入(福祉コース・食文化コース)

2 定時制・通信制課程の見直し

- (1) 昼間制への移行
 - ・ 昼間二部制の3校について、時間帯を固定した昼間制へ移行。
 - ・ 道守高校夜間部の商業科を募集停止。
- (2) 単位制・2学期制の導入
 - ・ すべての定時制課程において、単位制・2学期制を導入。
- (3) 教育内容の充実
 - ・ 学外学修の単位認定などにより、教育内容を充実。
- (4) 教育相談体制の充実
 - ・ カウンセラーや、養護教諭の適正配置に努め、教育相談体制を充実。
- (5) 通信制課程の教育体制の充実
 - ・ 道守高校の通信制課程のコース制の廃止、スクーリング日数の増加

【定時制・通信制課程の見直しスケジュール】

- 平成21年度
 - ・ 学科、カリキュラムの編成
 - ・ 施設・設備改修、人員配置等の検討
 - ・ 生徒、保護者、学校関係者等への周知
- 平成22年度
 - ・ 定時制・通信制課程の新体制スタート

※ 再編整備による定時制・通信制課程の就学体制の比較

地域	学校名	現 行			第1次実施計画(H21~23年度)
坂井	丸岡城東分校	昼間二部	隔週交替型	学年制	→ 昼間一部 単位制・二学期制
奥越	大野	昼間二部	隔週交替型	学年制	→ 昼間一部 単位制・二学期制
福井	道守	昼間二部	隔週交替型	学年制	↙ 午前部 単位制・二学期制 ↘ 午後部 単位制・二学期制
		夜間部	普通	学年制	→ 夜間部 単位制・二学期制
			商業	学年制	→ 募集停止
		通信制	日曜スクーリングのみ 毎日登校しスクーリングと特設を受講	学年制コース 単位制コース	→ 通信制 単位制・二学期制 → 募集停止
丹南	鯖江	夜間部		学年制	→ 夜間部 単位制・二学期制
	武生	昼間部		単位制・二学期制	→ 昼間部 単位制・二学期制
		夜間部		単位制・二学期制	→ 夜間部 単位制・二学期制
嶺南	敦賀	夜間部		学年制	→ 夜間部 単位制・二学期制
	若狭	夜間部		学年制	→ 夜間部 単位制・二学期制